



イトウ タカシ
伊藤 高史

Takashi ITO

講演

コンサルティング

学術調査

コメンテーター

所属・職名

社会学部メディア学科／社会学研究科 教授

研究分野

表現の自由の社会学的研究、ジャーナリズムの影響力及び現実構成機能について、メディア産業、コンテンツ産業の動向と課題

研究活動

表現に関する自主規制の研究で博士号を取得。その後、調査報道が国家権力を行使する立場にある人に対して影響力を及ぼすプロセス、メカニズムを実証的に研究した。現在では、ジャーナリズムがつくりあげる「現実」に固有の歪みとその生成過程を社会理論的に明らかにする作業に取り組む。あわせてメディア産業の課題についての研究を進める。

主要な業績 (著作・論文・研究 発表)

『「表現の自由」の社会学:差別的表現と管理社会をめぐる分析』(八千代出版、2006年)
『ジャーナリズムの政治社会学:報道が社会を動かすメカニズム』(世界思想社、2010年)

社会活動・その他

所属学会

日本マス・コミュニケーション学会

キーワード

表現の自由、ジャーナリズム、メディア産業、コンテンツ産業

https://kenkyudb.doshisha.ac.jp/rd/html/japanese/researchersHtml/115007/115007_Researcher.html